

基幹産業としての農業の振興について

上田 欣也 議員



上田 合志市の農業従事者数は、

産業振興部長 昨年の概数で、男性628、女性514、合計1142人で、一次産業の割合は全産業の6.5%です。

上田 農業の振興における多彩な担い手の育成の意味することは、

産業振興部長 認定農業者の他、地域営農団体、企業、新規就農者、女性農業経営者、高齢農業者などです。

上田 ブランド化と農家の収入確保について。

産業振興部長 ブランド推進は農業振興の一つの手段と考えています。

市長 これ

からの農業は戦略型で売れる物を作っていないか。そこで現場系の事業部と農商工連携、



合志市の農地

六次産業化等を政策部として取りまとめていきます。

上田 NIE（教育に新聞を）教育導入の経緯と目的は、

教育部長 新学習指導要領におけるすべての教科での言語活動の充実から、学力向上、幅広い人間形成につなげたい。

教育部長 氾濫する情報を読みとく力をつけると同時に、授業の改善を通じて世界に通用する子供たちを育てるためにNIEを推進したい。

上田 レターバス等について最新の市民ニーズは把握しているか。

政策部長 利用者アンケートを7月に行い結果を分析中。利用していない市民に対する聞き取りもします。

上田 地域公共交通計画にもあるが、公共交通は全市民の積極的な参加で植物に水をやるように丹念に育てていくものではないか。

市長 予算を投入するからには有り難さを実感してもらいたい。経費の節減とともに、きめ細かなサービスを検討することも必要と考えます。

平成23年第3回定例会 主な審議案件と議決結果

審議案件		議決結果
継続審査 請願 4件	建設に働く仲間と地域経済を救うルールづくりに関する請願	継続審査
	弁天山頂に国旗掲揚台の設置を求める請願書 黒石新開線の歩道拡幅に関する請願	取り下げ承認
	合志市中小企業等振興基本条例の施行に伴う請願	採択
条例 8件	合志市部設置条例の一部を改正する条例ほか 7件	原案可決
予算 5件	平成23年度合志市一般会計補正予算（第2号）ほか 4件	原案可決
認定 9件	平成22年度合志市一般会計歳入歳出決算ほか 8件	原案認定
契約 3件	西合志南中学校体育館改築本体工事請負契約の締結ほか 2件	原案可決
その他 1件	合志市道路線の認定	原案可決
請願 1件	郵政改革法案の早期成立を求める請願	採択
陳情 1件	西合志第一小学校区内の交通安全対策（信号機設置）について（要望）	採択
議員提出 議案 5件	「国民健康保険の国庫負担割合の改善を求める意見書」の提出 4件	原案可決
報告 9件	平成22年度合志市下水道特別会計継続費精算報告ほか 8件	報告終了

賛否表

- 議案第41号 合志市税条例の一部を改正する条例
- 認定第1号 平成22年度合志市一般会計歳入歳出決算
- 認定第2号 平成22年度合志市国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- 認定第4号 平成22年度合志市介護保険特別会計歳入歳出決算
- 認定第5号 平成22年度合志市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
																						結果
議案第41号	可決	17:3	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	認定	17:3	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	認定	17:3	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	認定	18:2	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号	認定	17:3	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※起立採決を行ったものに限ります。（○は賛成 ●は反対）
※池永幸生議員は議長職のため、表決には加わりません。

地下水利用の合理化・水質保全是進んでいるか！

濱口 正暁 議員



濱口 水問題については昨年9月、12月と質問を続けて来たが、地下水そのものの、県や合志市の取組みの状況はどう進んでいるのか。

市民部長 熊本県では生活用水の約8割が地下水でまかなわれており、特に熊本地域11市町村、人口約100万が地下水に依存している。そして地下水の水量、水質に係る問題が顕在化しており①地下水保全の普及②啓発③涵養対策に取組んで来た。

平成24年度から地下水を利用する団体、企業、市町村等で「くまもと地下水財団」として発足し、地域の健全な発展を図ろうとしている。

濱口 市内一部の地域で気がかりな硝酸性窒素への対応はどうか。

水道局長 現在、御代志配水池の早期着工をめざして対応しようとして進めている。

魅力化事業の推進について

濱口 自治基本条例はまちづくり条例とも呼ばれ、「住民参加のまちづくり」をうたっているが、合併した市として継承されているか。

政策部長 第2期基本計画の中で「市民参加によるまちづくりの推進」をかかげていて、市がやるべきこととして、魅力化事業を「発展的な事業」に変えるところで現在内部検討している。

濱口 歩道を使用するのは小学生が一番と思うが市内7小学校の通学路整備率はどれ位か。

都市建設部長 小学校7校では、通学路延長は80・1kmに対して、歩道延長路は33・5kmで整備率は42%である。

整備率の低い小学校は、合志小（14・5kmに対し0.7kmで整備率5%）、西合志第1小（10・5kmに対し0.3kmで整備率3%）、西合志南小（8.7kmに対し3.2kmで整備率37%）で、外の4校は整備率54、63%で、国道、県道の多い所は整備率が高くなっている。



歩道整備工事現場